

松山大学法学部学術講演会

演題：Das Licht des „Ausnahmestands“. Grundzüge von Carl Schmitts Verfassungslehre

講師：Prof. Dr. Reinhard Mehring (Pädagogische Hochschule Heidelberg)

講演概要

カール・シュミットの伝記研究で著名なラインハルト・メーリング教授をお招きし、自由主義と民主主義の区別および、ワイマール共和国の文脈における規範と「例外状況」の区別に関するシュミットの議論について、初学者向けにわかりやすく解説していただき、これら議論の今日的なアクチュアリティについて共に考えてみたい。

「緊急事態」条項が取り沙汰されている国内政治の文脈においても、ウクライナやガザをはじめとする危機状況が連鎖している国際政治の文脈においても、1920年代～30年代にかけての危機の時代を振り返る試みは、時宜を得たものといえるだろう。

コーディネーター・通訳

松山大学法学部教授 遠藤 泰弘



講師：ラインハルト・メーリング教授の略歴

1959年ドイツ・デュッセルドルフ生まれ、ボン大学・フライブルク大学で哲学・ドイツ文学・政治学を専攻、デュッセルドルフ大学、ヴュルツブルク大学、ベルリン大学で研究員・助手・講師などを経て、2007年よりハイデルベルク教育大学教授

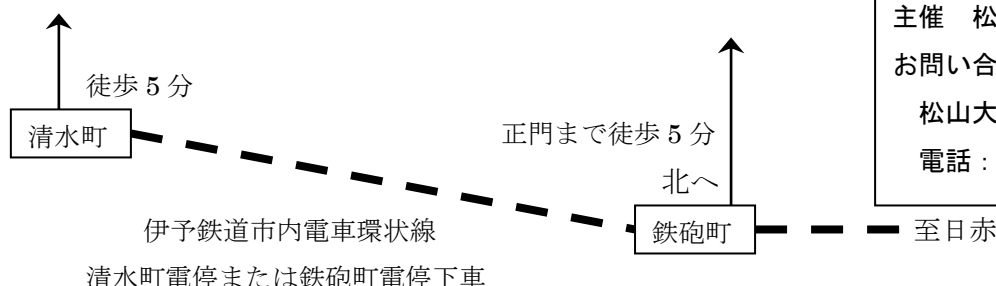
著書— Carl Schmitt. Aufstieg und Fall. Eine Biographie, Beck-Verlag, München 2009, 743 S. (englische Übersetzung Polity Press 2014)
共編著—Der Staats- und Völkerrechtler Carl Bilfinger (1879–1958). Dokumentation seiner politischen Biographie, Nomos-Verlag, BadenBaden 2024 他多数

日時：2024年 9月 23日(月)

18:00～19:30

入場無料・参加自由

場所：松山大学 8号館 821番教室



主催 松山大学法学部

お問い合わせ先

松山大学教務課 法学部担当

電話：089-926-7137 (直通)